

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
財務会計論Ⅱ	～218	2年生・後期	2単位	選択	津守 常弘	
履修の前提条件	「簿記Ⅰ・Ⅱ」「会計学入門」「会計学総論」など会計学の初歩的な知識は勿論、「財務会計論Ⅰ」の内容を習得していること。					
授業概要 (Course Outline)						
「財務会計論Ⅱ」では、「財務会計論Ⅰ」の講義内容を十分に理解していることを前提にして、「企業会計原則」と「国際会計基準」、「収益・費用中心観」と「資産・負債中心観」とへの制度・理論への両極分化について学習をさらに深め、資本会計・損益会計、財務諸表作成および企業集団会計の主要な論点について学習します。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
<p>今日、実体経済に比べ金融経済が著しく優位を占めるようになってきているため、財務会計に関する知識は誰もが身につけていなければならない常識になっています。このような社会的要請に応えるため、「財務会計論Ⅰ」では、財務諸表の読みとり方の基礎を身につけることを目標にしています。</p> <p>「財務会計論Ⅱ」では、「財務会計論Ⅰ」で学んだ資産会計・負債会計に引き続きに資本会計、損益会計、企業集団会計に関する主要問題について学習します。</p>						
事前学習の内容	毎回の講義の前にはテキストの該当箇所を必ず予習しておくこと。					
事後学習の内容	講義内容の要点は必ずノートし、次回の講義に備えておくこと。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
講義内容および講義資料の性質に応じて、対話的な授業を行います。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
<p>学習上の質問、相談については、講義終了後、教室または研究室(454)で受け付けます。</p> <p>オフィスアワー: 水曜日4時限目に研究室。</p>						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	資本金論(1)： 資本の意義と分類、資本金の重要性について学習します。		
第2回	資本金論(2)： 法制度的意義をも含めて資本金の会計について学習します。		
第3回	資本金論(3)： 資本剰余金の会計①について学習します。		
第4回	資本金論(4)： 資本剰余金の会計②について学習します。		
第5回	資本金論(5)： 自己株式の会計について学習します。		
第6回	損益論(1)： 損益論の意義とその重要性について学習します。		
第7回	損益論(2)： 損益論の諸原則について学習します。		
第8回	損益論(3)： 営業収益の会計について学習します。		
第9回	損益論(4)： 営業費用と特別損益について学習します。		
第10回	財務諸表作成論(1)： 財務諸表の意義と種類について学習します。		
第11回	財務諸表作成論(2)： 商法と証券取引法(金商法)との関連を学習します。		
第12回	企業集団論(1)： 企業結合の意義、分類、その会計について学習します。		
第13回	企業集団論(2)： 連結財務諸表作成基準①について学習します。		
第14回	企業集団論(3)： 連結財務諸表作成基準②について学習します。		
第15回	企業集団論(4)： 連結キャッシュフロー計算書について学習します。		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
授業開始時に指示する			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
講義用資料を必要に応じて配布します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
(1) 学期末試験を行う。(2) 必要に応じて中間試験を行う。			